

10th Edition

港区政策形成支援
データ集

Minato City Supportive
Data File of Policy Formulation 10th Edition



港区政策創造研究所
(港区企画経営部)

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

港区政策形成支援データ集（10th Edition）の発行に当たって

この度、港区政策創造研究所では、区の課題解決に向けた政策形成に活用できるよう、最新の政策課題に関する各種データを集約した「港区政策形成支援データ集（10th Edition）」を発行しました。

近年、地方公共団体において、客観的なデータを活用した合理的根拠（エビデンス）に基づき、政策立案や実績評価を行う EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）への取組が広がっています。

こうした状況の中、港区においても、分野ごとの区の現状や将来の課題に関して、各分野を所管する部門が把握・保有する、基礎的なデータの利活用による分析、検討が行われ、政策に生かされています。

一方で、最新の社会経済動向に的確に対応した政策を実行するためには、こうした基礎的なデータの分析に加えて、幅広い分野に影響が波及する主要な社会経済動向について、最新のデータや関連する国・東京都の政策動向などの情報を把握し、分析することが必要となります。

「港区政策形成支援データ集」は、このような問題意識から、人口や財政など全ての分野の基礎となる動向と、今後中長期的に注視すべき主要な政策課題について、関連データや国・東京都の政策情報、区内外の取組事例などについて取りまとめています。

本資料が、区民の皆様が区の政策課題や取組をご理解いただく資料として活用され、多様な主体による、港区をより魅力的で暮らしやすいまちにするための取組の一助となれば幸いです。

令和6年3月

港区政策創造研究所

目次

基礎編

I 人口

人口、世帯数 1

人口ピラミッド（平成8年と令和6年の比較） ... 1

出生数と合計特殊出生率..... 2

自然増減と社会増減 2

港区の人口（町丁目別）..... 3

港区の人口密度（町丁目別） 4

港区の年少人口（町丁目別） 5

港区の生産年齢人口（町丁目別） 6

港区の老年人口（町丁目別） 7

港区の外国人人口（町丁目別） 8

地区別の面積 9

II 財政

歳入と歳出 10

人口と特別区民税収入 10

普通会計目的別歳出決算額 11

経常収支比率の推移 11

普通会計人件費と職員数の推移..... 12

基金残高と区債残高の推移 12

第1部

港区における地域コミュニティ 13

第2部

港区の観光産業 19

第3部

アクティブシニアの創出 25

第4部

健康で快適な区民生活 31

第5部

子育ての支援 41

第6部

港区におけるモビリティ政策 47

第7部

さらなるごみの減量と循環型社会の形成に向けて	55
------------------------	----

第8部

港区の防災 ～災害対策と感染症対策～	61
--------------------	----

第9部

学校教育の情報化	67
----------	----

港区政策創造研究所が実施した大規模社会調査

I 港区政策創造研究所が実施した大規模社会調査一覧	73
II 近年実施した大規模社会調査の結果概要	76

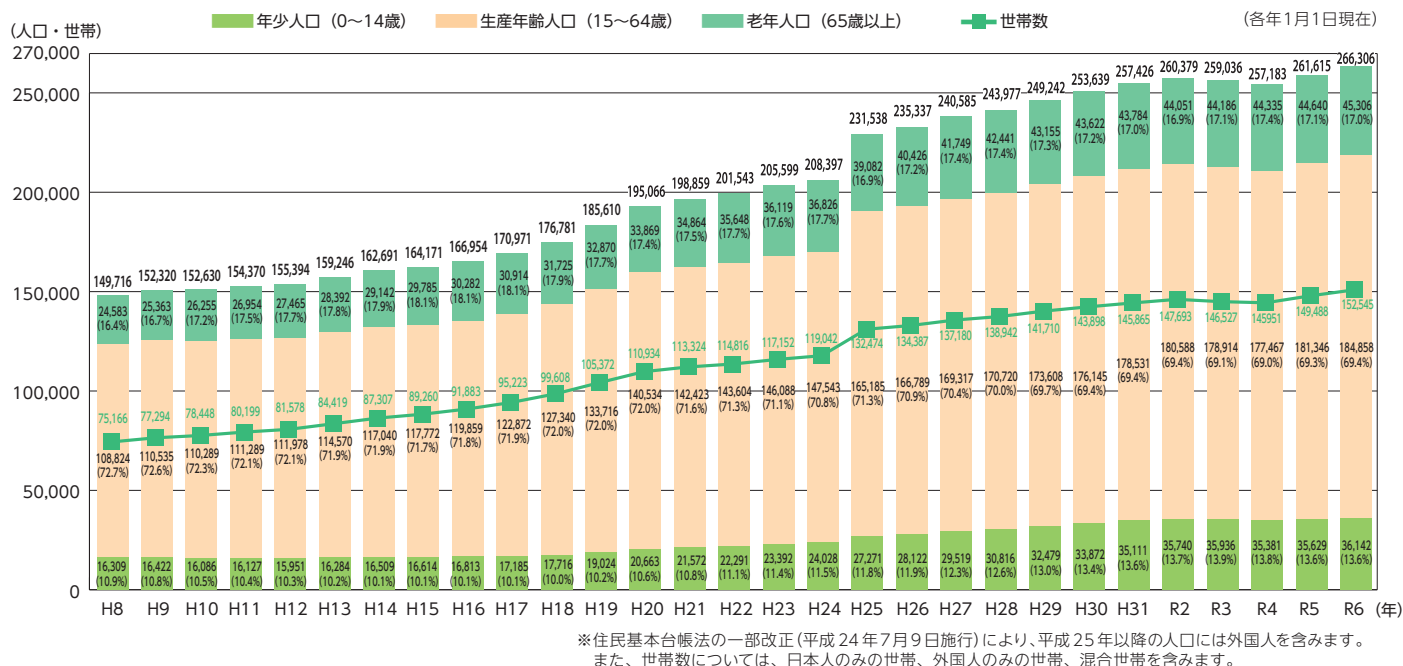
コラム

～その1～ 「NPO」とは	15
～その2～ 安全・安心な地域コミュニティに向けての取組	18
～その3～ ワーケーションの促進	21
～その4～ 観光地のリアルタイム確認	21
～その5～ 食生活改善による健康増進	32
～その6～ がん治療と仕事の両立	38
～その7～ 人工知能の活用による受診率の向上	39
～その8～ 健康経営	39
～その9～ 一時預かりの空き状況の照会	45
～その10～ つながり創出に関する取組	46
～その11～ シェアリングエコノミー	50
～その12～ ZEVとは	51
～その13～ 人工知能等を活用したタクシーの効率化	52
～その14～ 教育における生成AIの利用	71
～その15～ プログラミング公営塾	71

I 人口

人口、世帯数

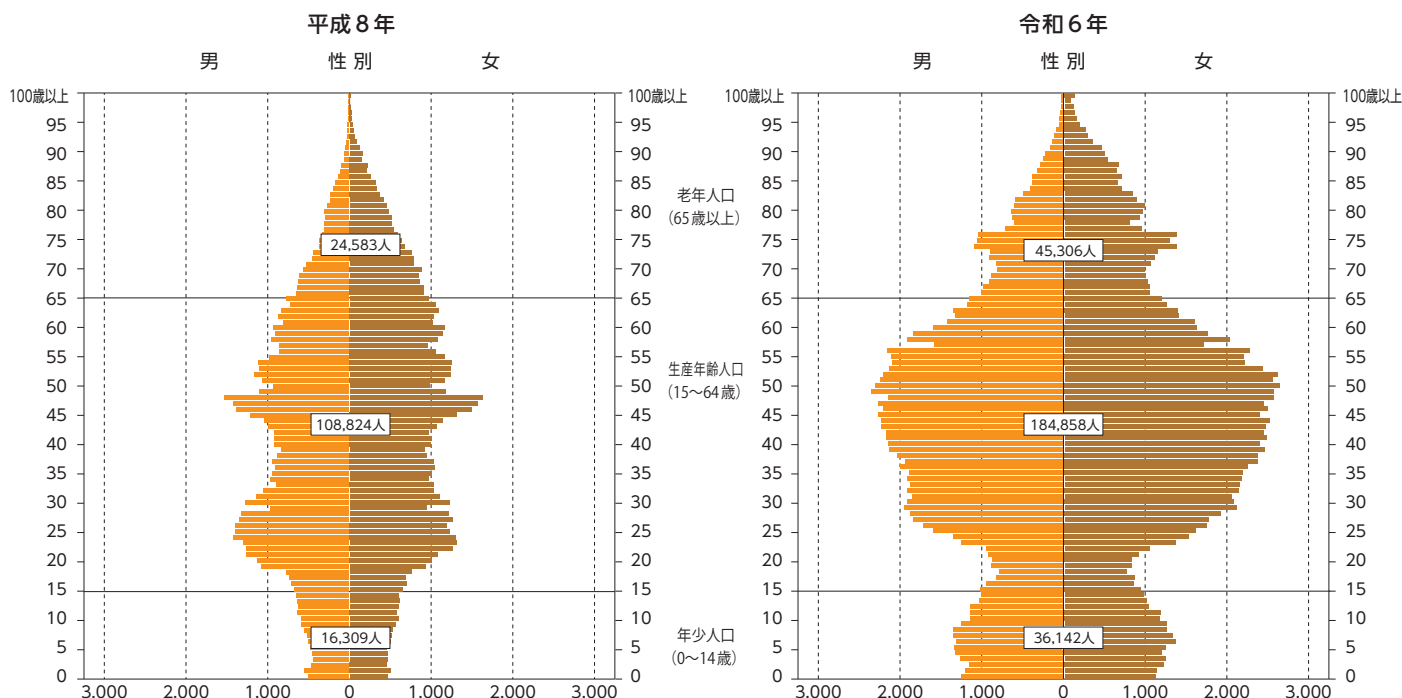
港区の人口は、平成8年に15万人を下回って以降、大規模集合住宅の供給などにより増加傾向にあり、令和元年9月には26万人を突破しました。令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響と見込まれる減少傾向が続いていましたが、令和4年から再び増加傾向に転じています。世帯数は、人口の増加に伴って増加傾向にありましたが、令和2年から令和4年にかけては新型コロナウイルス感染症の影響と見込まれる減少を示した一方、令和5年以降は増加しています。



出典：港区「住民基本台帳」

人口ピラミッド (平成8年と令和6年の比較)

人口が11.7万人程度増えているため、人口ピラミッドは全体的に大きくなっています。令和6年の年齢三区分別人口の対平成8年比は、年少人口で221.6% (19,833人増加)、生産年齢人口で169.9% (76,034人増加)、老年人口で184.3% (20,723人増加) となり、どの区分でも人口は1.6倍以上になっています。



住民基本台帳に基づく人口 149,716人 (平成8年1月1日現在)

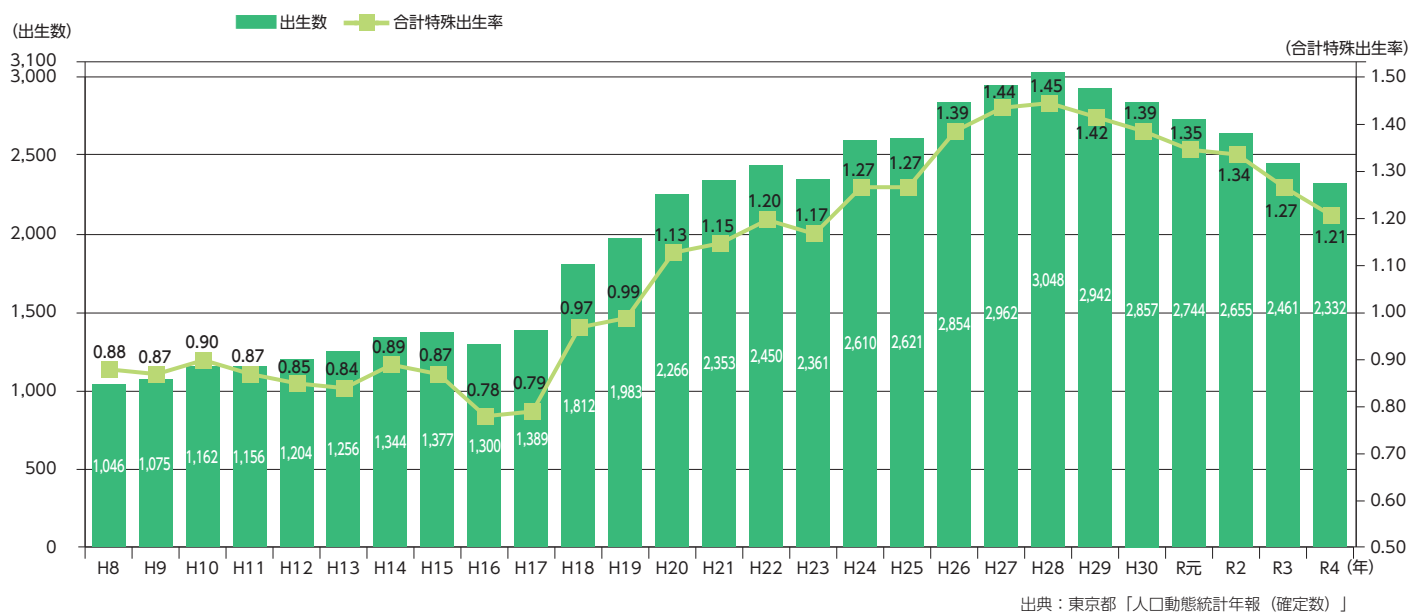
住民基本台帳に基づく人口 266,306人 (令和6年1月1日現在)

※住民基本台帳法の一部改正 (平成24年7月9日施行) により、令和6年の人口は外国人 (21,278人) を含みます。

出典：港区「住民基本台帳」

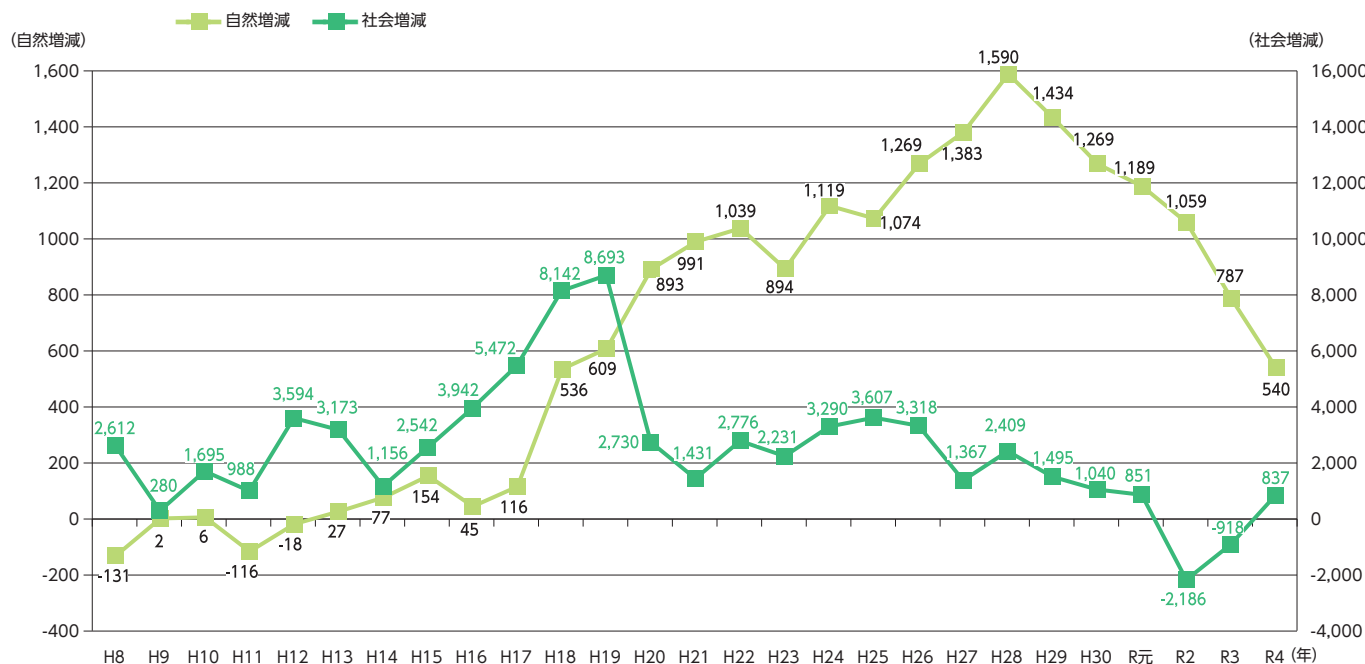
出生数と合計特殊出生率

出生数は平成8年には約1,000人でしたが、以降は中長期的に増加傾向となっています。平成28年には3,048人となり、平成8年の約3倍になりました。合計特殊出生率（15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数相当）も、出生数の増加に伴い上昇しています。平成28年には1.45で、全国の値（1.44）を上回り、23区で最も高くなりました。出生数、合計特殊出生率ともに、平成28年以降は減少に転じており、令和4年は出生数が2,332人、合計特殊出生率が1.21となっています。

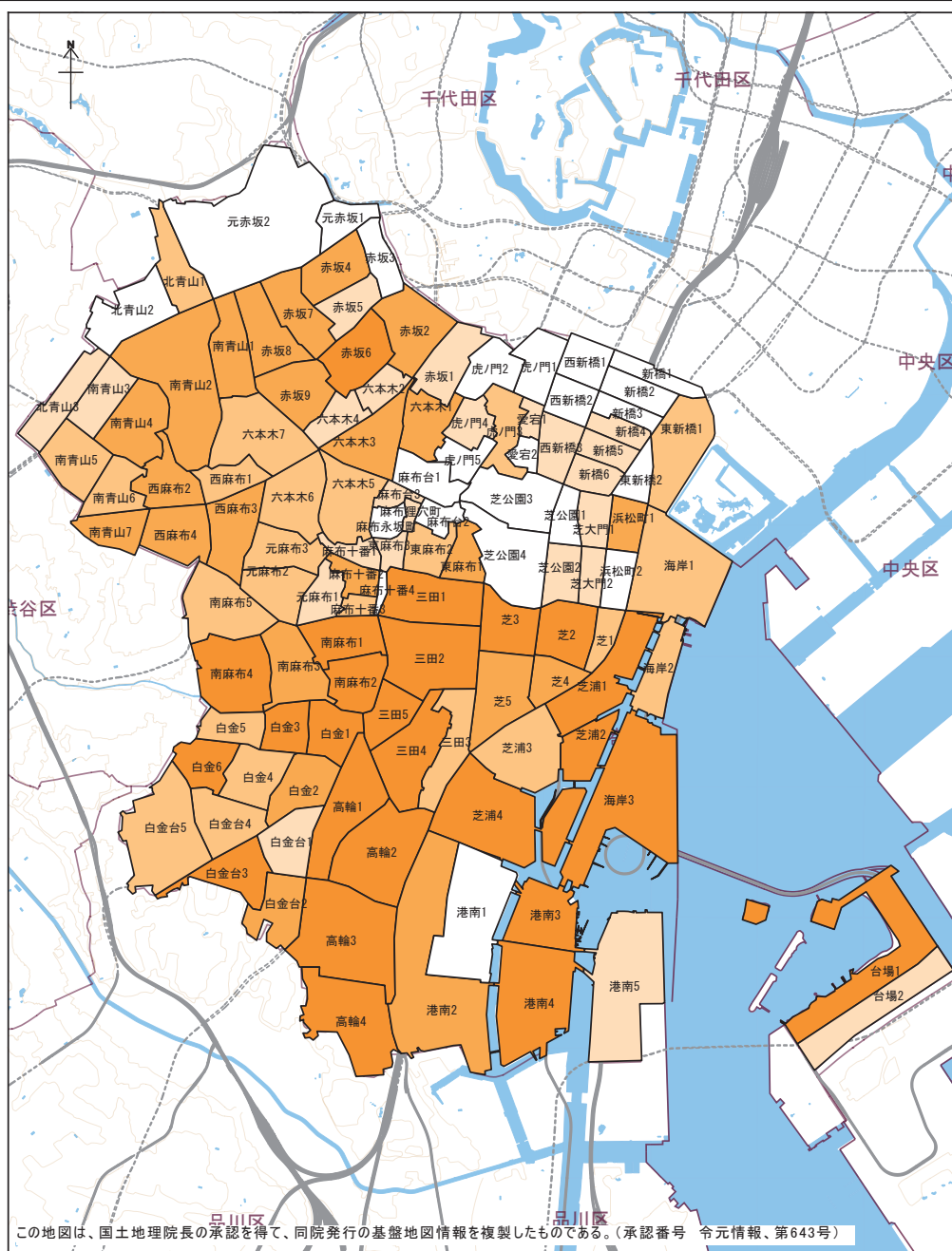


自然増減と社会増減

出生数と死亡数の差を示す自然増減は、出生数の増加により平成18年以降大幅にプラスの値を示しています。転入数と転出数の差を示す社会増減は、大規模集合住宅の開発等により平成14年から平成19年にかけて急増し、平成20年以降はピーク時よりも低い水準で推移していました。また、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響と見込まれる大幅な減少となりましたが、令和3年以降は増加に転じています。



港区の人口（町丁目別）



2.0 km

1:33,000

総人口（計266,306人） 住民基本台帳（R6.1.1）

	3446～17805
	2207～3446
	1274～2207
	568～1274
	9～568

上位10町丁目			下位10町丁目		
順位	町丁目名	人口（人）	順位	町丁目名	人口（人）
1	芝浦4丁目	17,805	1	新橋1丁目	9
2	港南4丁目	10,989	2	虎ノ門2丁目	21
3	高輪1丁目	8,045	3	芝公園4丁目	67
4	三田5丁目	6,566	4	新橋2丁目	105
5	高輪2丁目	6,415	5	新橋3丁目	170
6	港南3丁目	6,385	6	麻布台1丁目	240
7	白金1丁目	6,150	7	浜松町2丁目	243
8	高輪3丁目	4,706	8	芝公園1丁目	247
9	南麻布1丁目	4,642	9	赤坂3丁目	249
10	台場1丁目	4,565	10	西新橋1丁目	252

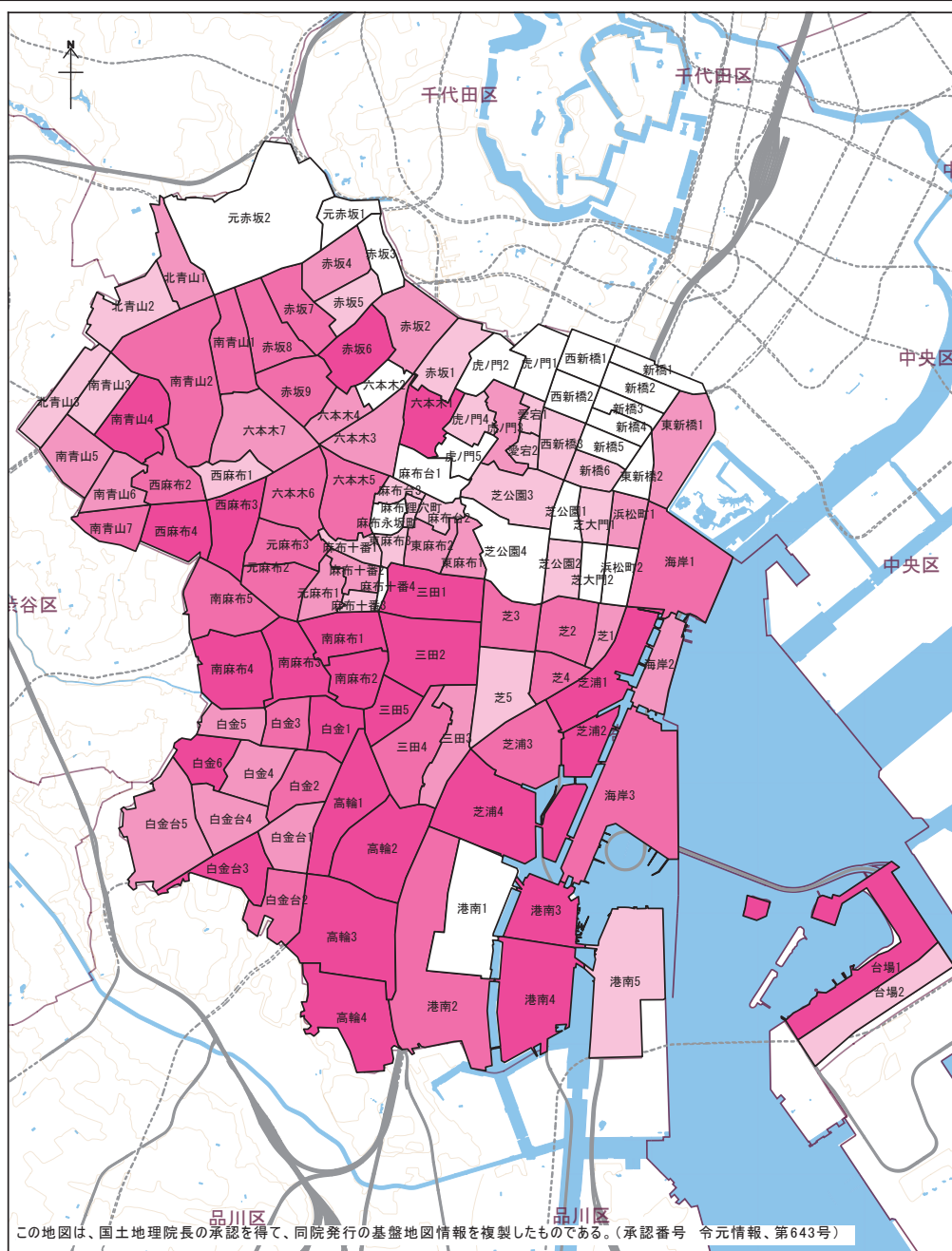
[illegible]

2.0 km
1:33,000

	21108~60703
	15468~21108
	9327~15468
	5244~9327
	121~5244

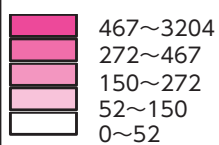
上位 10 町丁目			下位 10 町丁目		
順位	町丁目名	人口密度 (人/km ²)	順位	町丁目名	人口密度 (人/km ²)
1	三田5丁目	60,704	1	新橋1丁目	121
2	白金1丁目	49,125	2	虎ノ門2丁目	179
3	麻布十番3丁目	47,927	3	芝公園4丁目	259
4	麻布十番2丁目	40,026	4	元赤坂2丁目	378
5	麻布狸穴町	37,277	5	港南1丁目	875
6	白金3丁目	36,028	6	新橋2丁目	980
7	芝浦4丁目	33,897	7	港南5丁目	1,280
8	白金6丁目	31,951	8	芝公園3丁目	1,486
9	高輪1丁目	31,750	9	麻布台1丁目	2,159
10	芝浦2丁目	31,497	10	西新橋1丁目	2,443

港区の年少人口（町丁目別）



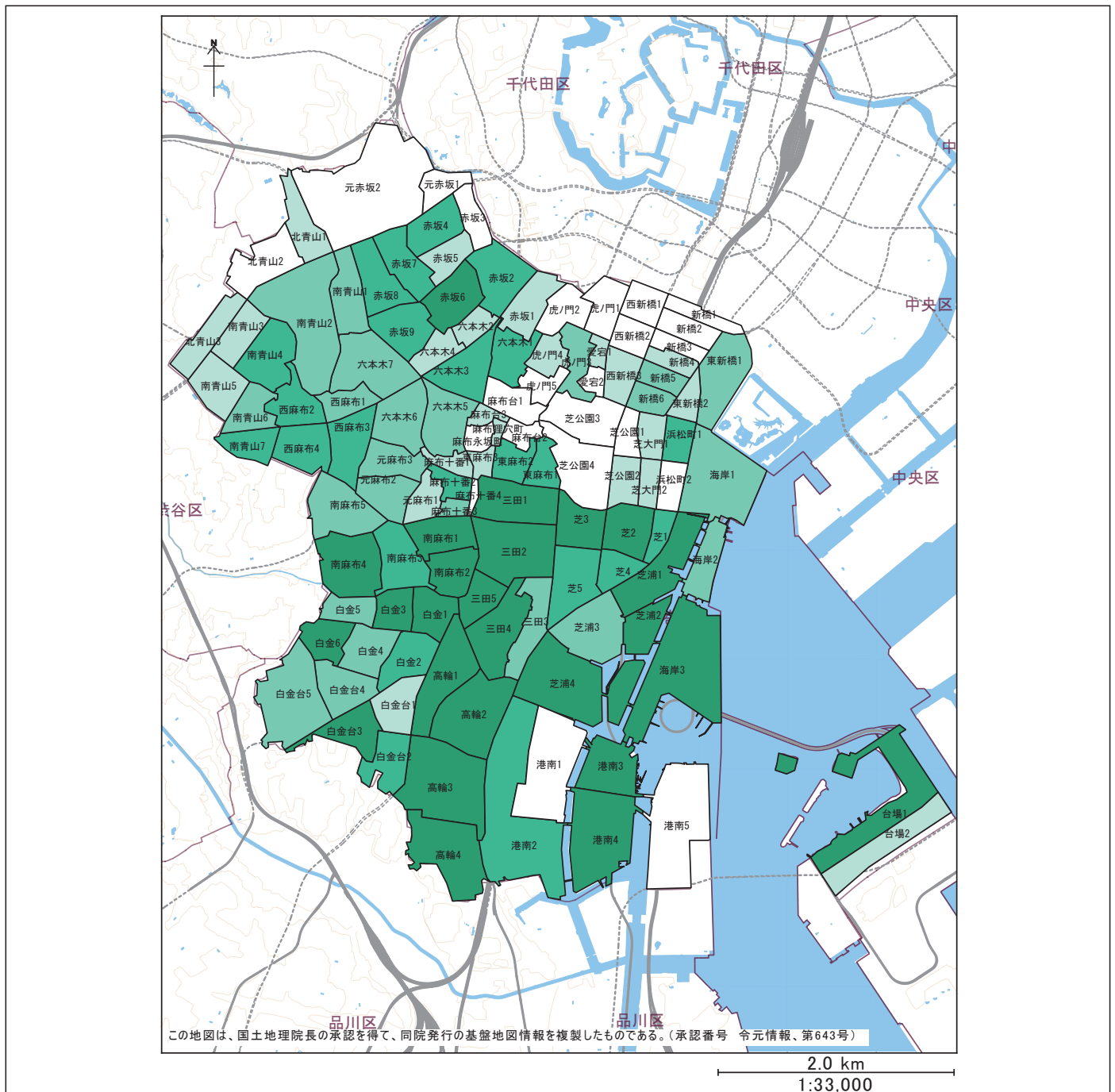
年少人口（0～14歳：計36,142人）

住民基本台帳（R6.1.1）



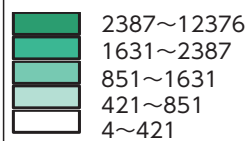
上位10町丁目			下位10町丁目		
順位	町丁目名	人口(人)	順位	町丁目名	人口(人)
1	芝浦4丁目	3,204	1	新橋1丁目	0
2	港南4丁目	1,947	1	虎ノ門2丁目	0
3	高輪1丁目	1,087	3	新橋2丁目	4
4	港南3丁目	1,038	3	芝公園4丁目	4
5	三田5丁目	938	5	新橋3丁目	7
6	白金1丁目	884	6	西新橋1丁目	9
7	高輪2丁目	871	7	赤坂3丁目	10
8	台場1丁目	730	8	芝公園1丁目	17
9	三田2丁目	677	9	浜松町2丁目	18
10	高輪3丁目	675	10	西新橋2丁目	19

港区の生産年齢人口（町丁目別）



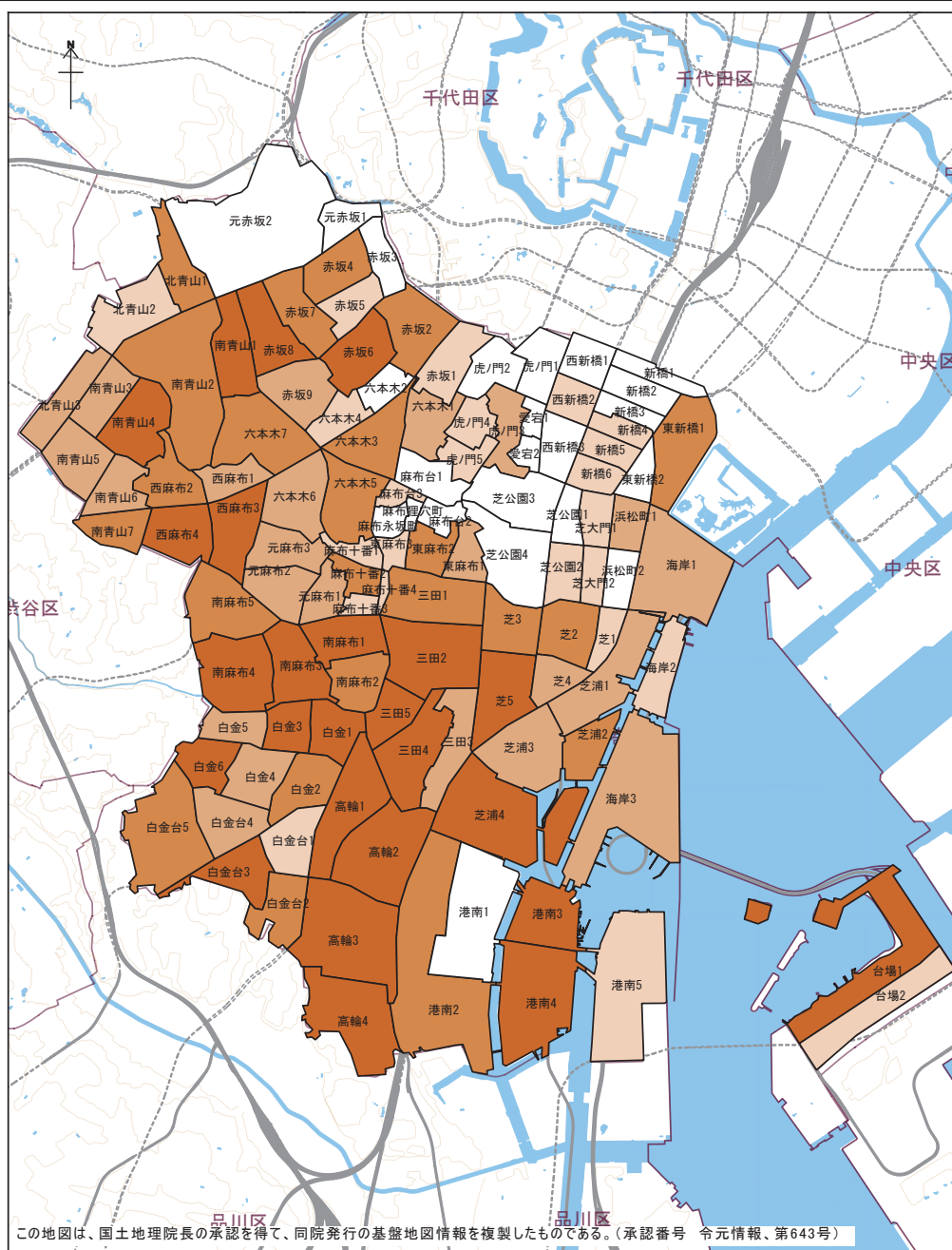
生産年齢人口（15～64歳：計184,858人）

住民基本台帳（R6.1.1）



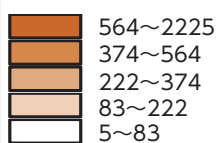
上位10町丁目			下位10町丁目		
順位	町丁目名	人口(人)	順位	町丁目名	人口(人)
1	芝浦4丁目	12,376	1	新橋1丁目	4
2	港南4丁目	7,076	2	虎ノ門2丁目	10
3	高輪1丁目	5,362	3	芝公園4丁目	52
4	三田5丁目	4,528	4	新橋2丁目	53
5	白金1丁目	4,387	5	新橋3丁目	84
6	港南3丁目	4,386	6	麻布台1丁目	160
7	高輪2丁目	4,268	7	西新橋1丁目	172
8	南麻布1丁目	3,354	7	芝公園1丁目	172
9	芝浦2丁目	3,333	7	赤坂3丁目	172
10	海岸3丁目	3,323	10	浜松町2丁目	178

港区の老年人口（町丁目別）



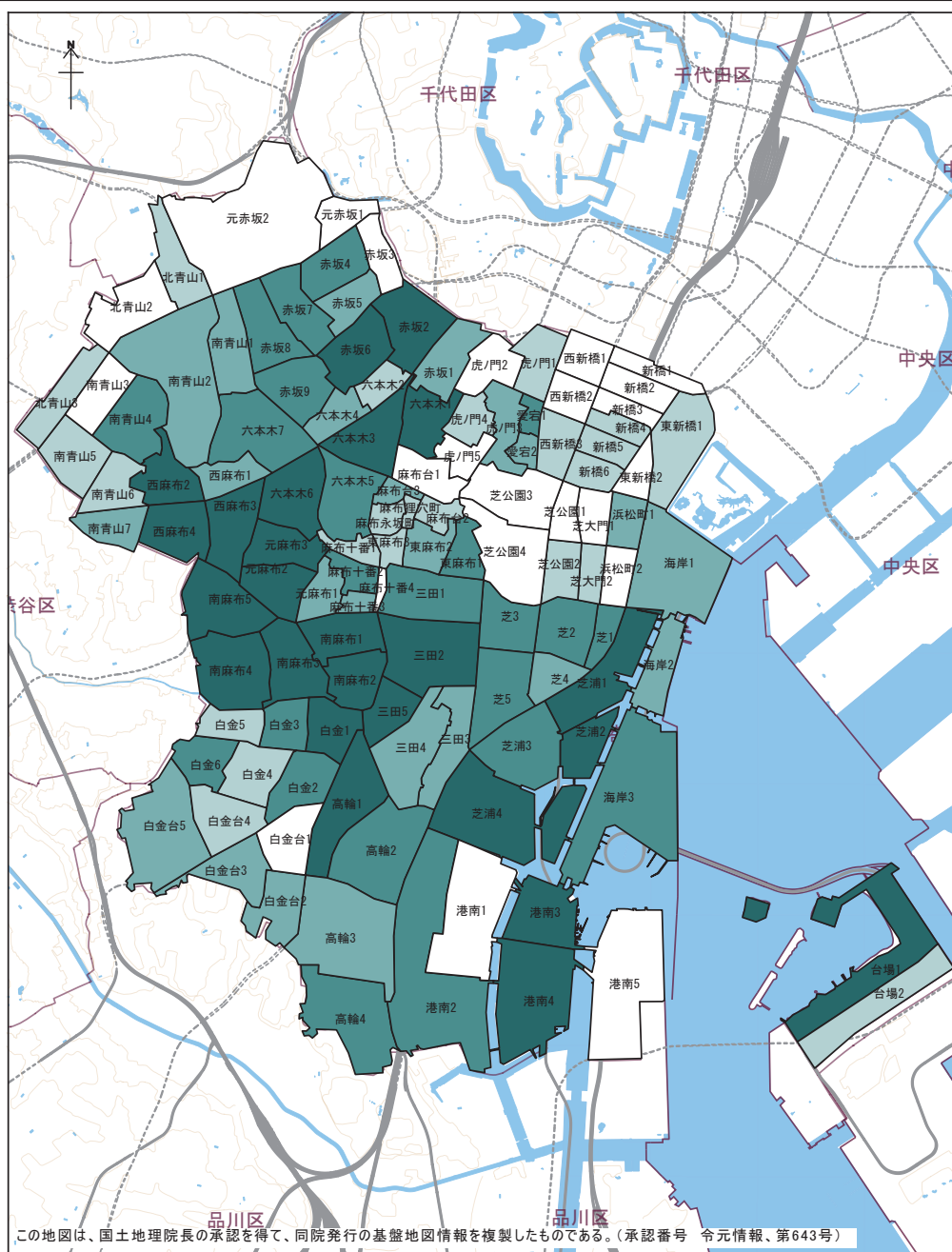
老年人口（65歳以上：計45,306人）

住民基本台帳（R6.1.1現在）



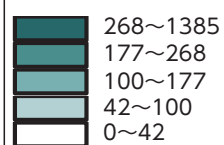
上位10町丁目			下位10町丁目		
順位	町丁目名	人口(人)	順位	町丁目名	人口(人)
1	芝浦4丁目	2,225	1	新橋1丁目	5
2	港南4丁目	1,966	2	元赤坂2丁目	9
3	高輪1丁目	1,596	3	虎ノ門2丁目	11
4	高輪2丁目	1,276	3	芝公園4丁目	11
5	三田5丁目	1,100	5	港南1丁目	17
6	芝5丁目	989	6	麻布台1丁目	39
7	港南3丁目	961	7	愛宕2丁目	41
8	高輪3丁目	947	8	芝公園3丁目	42
9	高輪4丁目	943	9	麻布永坂町	43
10	三田2丁目	888	10	東新橋2丁目	44

港区の外国人人口（町丁目別）

2.0 km
1:33,000

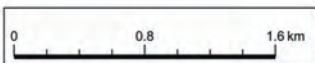
外国人人口（計21,278人）

住民基本台帳（R6.1.1現在）



上位10町丁目			下位10町丁目		
順位	町丁目名	人口(人)	順位	町丁目名	人口(人)
1	芝浦4丁目	1,385	1	新橋1丁目	0
2	港南4丁目	684	1	虎ノ門2丁目	0
3	白金1丁目	591	1	元赤坂2丁目	0
4	芝浦2丁目	561	4	新橋2丁目	3
5	南麻布4丁目	537	5	西新橋1丁目	4
6	高輪1丁目	523	6	芝公園4丁目	5
7	六本木1丁目	495	7	新橋3丁目	10
7	赤坂6丁目	437	8	浜松町2丁目	18
9	南麻布1丁目	436	9	西新橋2丁目	19
10	元麻布3丁目	435	10	港南5丁目	20

地区別の面積

港区総面積：20.36km²赤坂地区
4.01km²芝地区
4.45km²麻布地区
3.79km²高輪地区
3.47km²芝浦港南地区
4.63km²

(C)PASCO (C)INCREMENT P (C)財団法人日本デジタル道路地図協会

凡例

- 芝地区
- 麻布地区
- 赤坂地区
- 高輪地区
- 芝浦港南地区

23区の面積					
順位	区	面積 (km ²)	順位	区	面積 (km ²)
1	大田区	61.86	13	新宿区	18.22
2	世田谷区	58.05	14	中野区	15.59
3	足立区	53.25	15	渋谷区	15.11
4	江戸川区	49.90	16	目黒区	14.67
5	練馬区	48.08	17	墨田区	13.77
6	江東区	42.99	18	豊島区	13.01
7	葛飾区	34.80	19	千代田区	11.66
8	杉並区	34.06	20	文京区	11.29
9	板橋区	32.22	21	中央区	10.21
10	品川区	22.85	22	荒川区	10.16
11	北区	20.61	23	台東区	10.11
12	港区	20.36			

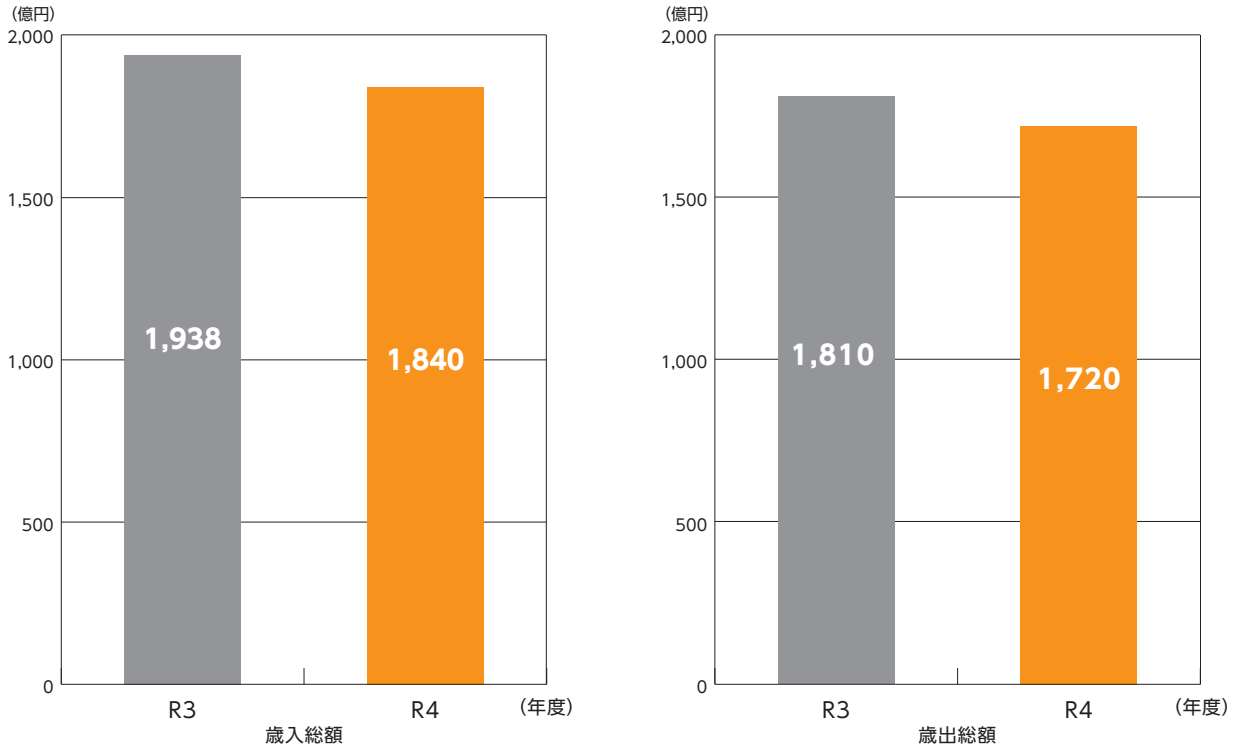
出典：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調（令和5年10月1日時点）」

II 財政

※計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため、合計等と一致しない場合があります。

歳入と歳出

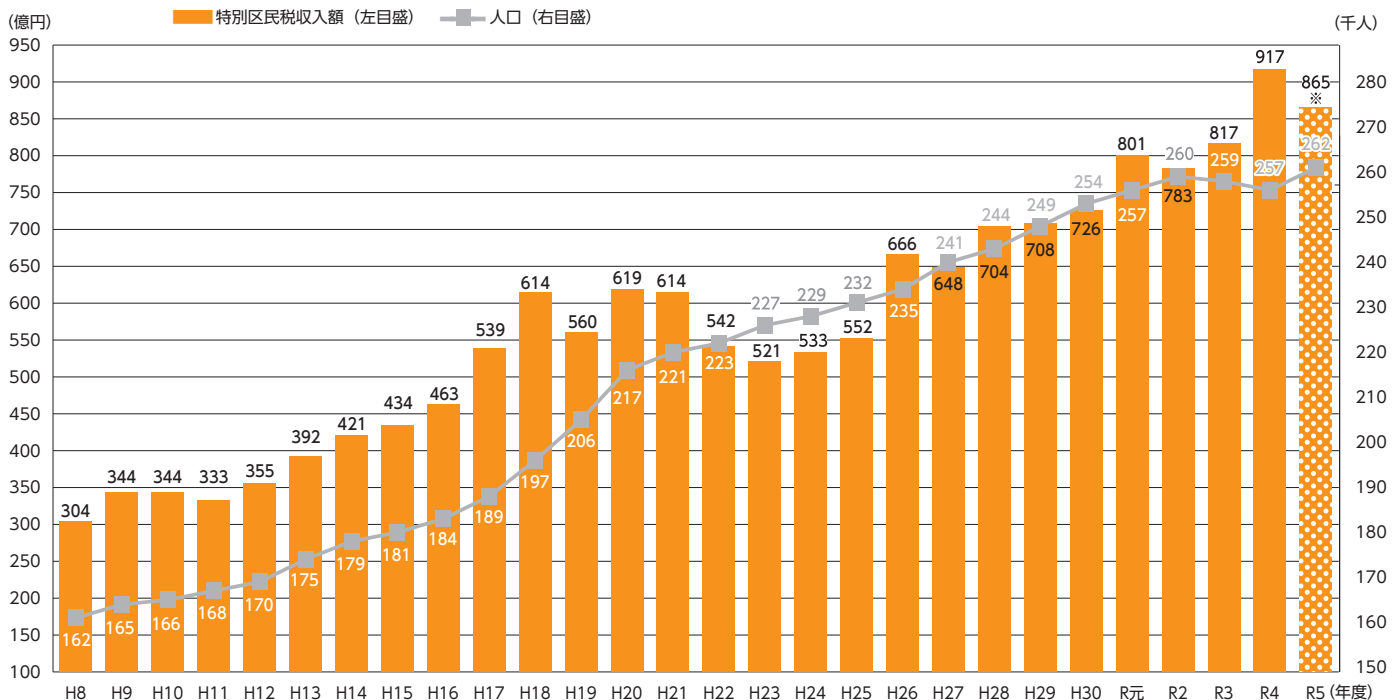
■歳入総額は、一般財源で特別区税等が増となった一方、特定財源で繰入金等が減となり、前年度比98億円(5.1%)の減となりました。
歳出総額は、前年度比89億円(4.9%)の減となりました。(普通会計決算ベース)



出典：港区「令和4年度決算 港区財政レポート」から作成

人口と特別区民税収入

■特別区民税収入は、感染症の影響を受けつつも堅調に推移しており、令和4年度は、前年度比101億円(12.4%)増の917億円となりました。



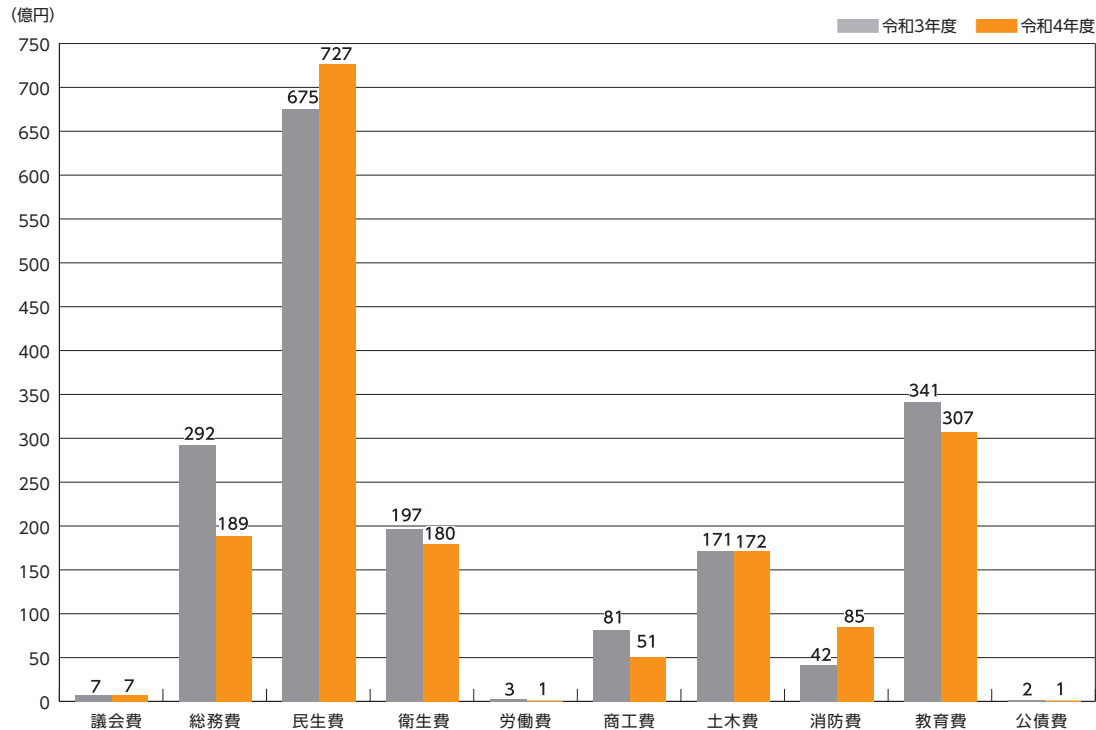
※令和5年度の特別区民税収入は、当初予算額です。

※特別区民税は、当該年度の初日が属する年の1月1日に港区に住所を有する区民が港区に納税することから、人口は各年1月1日現在数です。
(例えば、令和5年度は令和5年1月1日現在数)

出典：港区「令和4年度決算 港区財政レポート」「令和5年度港区予算概要」から作成

普通会計目的別歳出決算額

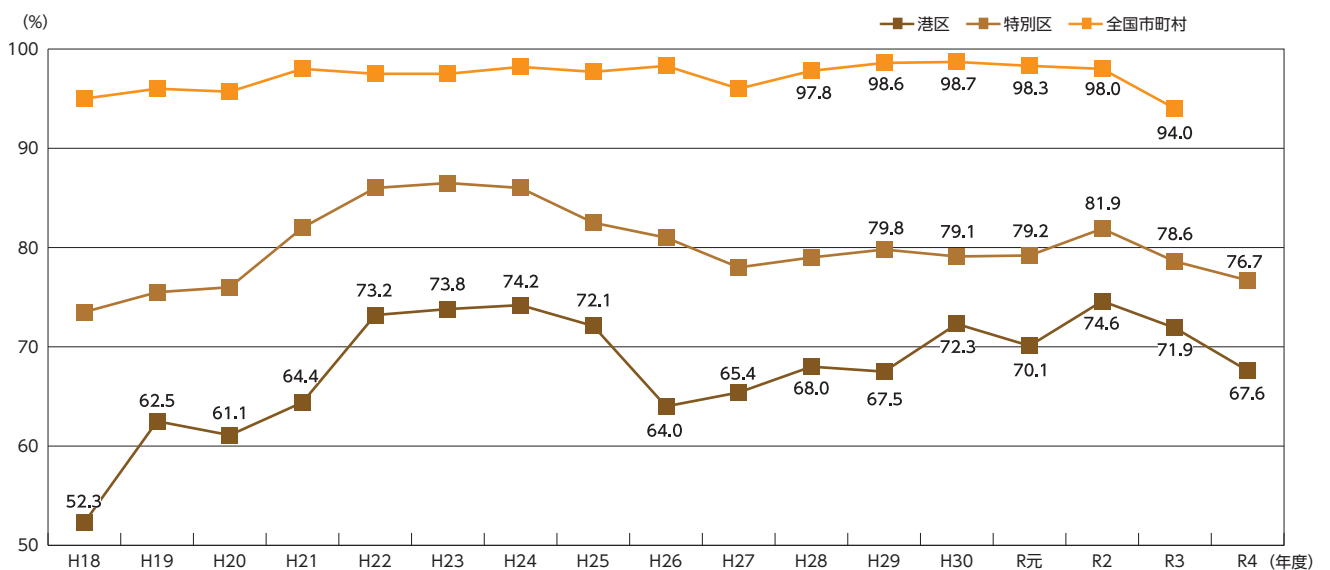
歳出は、前年度比89億円、4.9%減の1,720億円となりました。



出典：港区「令和4年度決算 港区財政レポート」から作成

経常収支比率の推移

経常収支比率は、前年度と比較して4.3ポイント減の67.6%となりました。



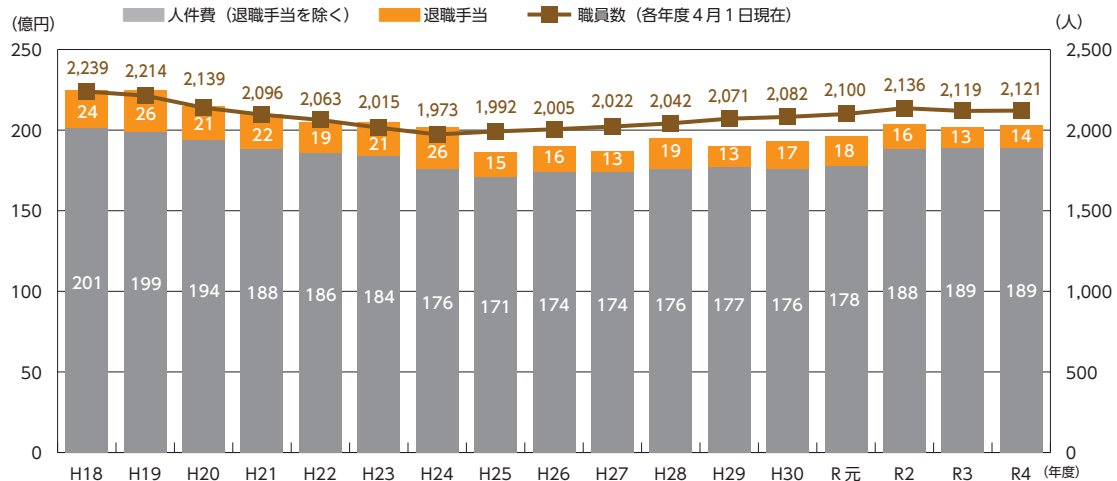
※経常収支比率 = 経常経費充当一般財源等 ÷ 経常一般財源等 × 100

※令和4年度の特別区の経常収支比率は、令和5年7月7日付けで東京都から発表された値を掲載しています。

出典：港区「令和4年度決算 港区財政レポート」から作成

普通会計人件費と職員数の推移

人件費は、勤勉手当の支給月数の引上げや定年退職者数の増により、前年度比1億円増の203億円（うち退職手当14億円）となりました。

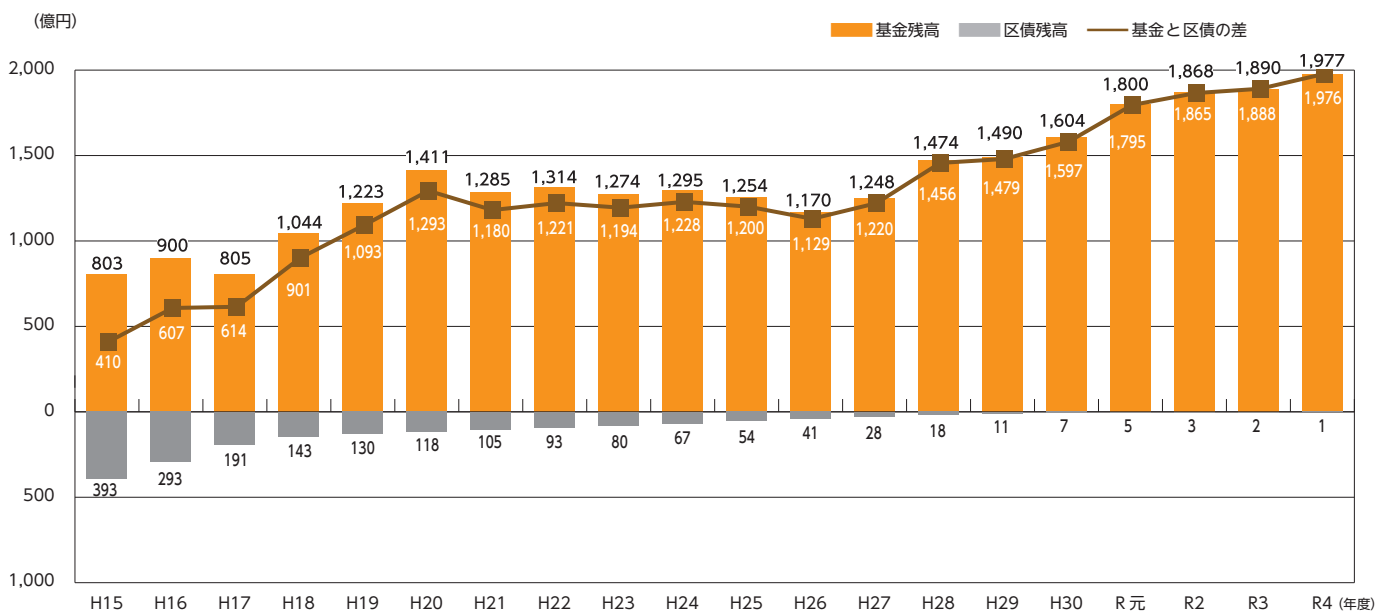


出典：港区「令和4年度決算 港区財政レポート」から作成

※職員数は、総務省の「地方公務員給与実態調査」に基づく翌年4月1日時点の普通会計職員の数で、会計年度任用職員は含まれません。

基金残高と区債残高の推移

基金（区の貯金）残高は、143億円の積立てと56億円の取崩しを行った結果、令和4年度末の基金残高は前年度比87億円増の1,977億円となりました。
区債（区の借金）残高は、前年度比1億円減の1億円となりました。



出典：港区「令和4年度決算 港区財政レポート」から作成